

子ども達の食を保障する給食

小中学生全ての子を無償化の対象に

米の高騰・物価高騰が東村山市の給食も直撃

東村山市の学校給食のお米は、姉妹都市である新潟県柏崎市から届く「こしいぶき」が使われています。

【米 1kgあたりの値段】

年	2022	2023	2024	2025
金額(円)	340	350	370	650

★3年前と比較しても約1.9倍。給食の質を落とさないために、献立や食材の見直し検討で栄養士さんが相当ご苦労されていることがわかります。



【1食あたりの金額】

	小学校		中学校
学年	1・2	3・4	5・6
金額(円)	272	296	320

	全学年
金額(円)	346

★市が独自に物価高騰分を上乗せしても、近隣自治体と比較すると10円～30円程度下回っていることがわかりました。



【無償化対象外の児童生徒数】

	国立	私立	市外公立	合計
小学校	17人	118人	97人	232人
中学校	18人	389人	79人	486人
合計	35人	507人	176人	718人

★市内小中学校外に通う児童生徒は718人。不登校、スクールランチを注文しないを選んだ生徒も無償化の対象外となっています。



- ①全ての児童生徒を対象にすること
②可能な限り、給食の質の向上に努めること

を要望しました。



増えるねずみ相談には理由の解明が必要

6月議会
一般質問
③

ねずみが与える市民への影響

- ①感染症などの衛生的被害
- ②火災など都市機能の阻害
- ③休息の妨害や食中毒などの精神的被害
- ④農作物への被害 などがあげられます

市独自でねずみ相談窓口の創設を

ねずみが増える背景には、地球温暖化や緑地減少、空家の増加などがあります。その状況は地域によって異なるため、地域ごとの対策が欠かせません。国や都は「市町村の役割が重要だ」とし、市は「ねずみの駆除は所有者等が環境整備を行うことが基本」と、自己責任にされてしまいがちです。ねずみを減らすには、広域的な対策が必要です。まずは実態把握のための窓口創設を求めました。



マイナカードが必要だった

公共施設予約

みんなの声で変える!!

今年3月。東村山市から「公民館などの公共施設予約には、マイナカード登録が必要」との衝撃的な案内が行われました。

マイナカードの所有は自由選択です。カードの有無で行政サービスの差別があってはなりません。多くの市民が公共施設や市役所に改善を求めてきました。6月議会に出された「マイナカードを持たない市民も自宅からパソコンで空き状況の確認と予約できるシステムに改修することを求める陳情」が後押しとなり、システム改修により、秋には不所持の方も対応が可能となる予定です。

◆山田たか子 ◆いま しんぶん赤旗 がおもしろい!

HP



日刊紙 月3,497円

日曜版 月990円

(日刊紙 電子版 月3,497円)

お申し込みは山田までどうぞ(^_^)

